

年 組 名前：

# 毒グモ 県内初確認

## 富士吉田市内 注意呼びかけ

山梨県は2日、富士吉田市内で、特定外来生物に指定されている毒グモ「ハイイロゴケグモ」1匹が見つかったと発表した。県内での確認は初めて。かまれた人はいない。県などは触らないよう注意を呼びかけている。

ハイイロゴケグモは体長約1センチで、オーストラリアや中南米などに広く分布。体の色は全体的に茶色く、背中に赤褐色の斑紋があり、腹面には砂時計の形に似た赤い模様がある。



県内で初めて見つかったハイイロゴケグモ。背面には赤褐色の斑紋がある（県提供）

ある。かまれると神経毒のため痛みや熱、腫れなどが生じるが、人の死亡例はない。

県自然共生推進課によると、11月29日、富士吉田市内の店舗従業員が県外から持ち込まれた商品を整理する際、商品を包んだ袋の中に見慣れないクモがいるのを発見。連絡を受けた県富士・東部林務環境事務所がクモを回収した。民間の研究機関が調べ、12月2日にハイイロゴケグモと断定された。クモはこの研究機関に保管されていて、既に死んでいるという。

市は1日、店舗周辺の小中学校などに対し、見慣れないクモを見つけた場合は触らないよう注意を呼びかけた。県は2日から、ホームページで特徴や駆除方法などの周知を始めた。

課の担当者は「屋外に生息している可能性は現時点で低いですが、もし見つけた場合はす

ぐに連絡してほしい」と話している。  
ハイイロゴケグモはこれまで、国内では山梨を除き、東京や神奈川、愛知、大阪など15都府県で確認されていた。  
〈宇賀神将樹〉

(2022年12月3日付 山梨日日新聞 25面)

問1 富士吉田市で見つかった毒グモの名称を、教えてください。

.....

問2 毒グモは、どこの中から発見されましたか。

.....

問3 毒グモの特徴を、教えてください。

・体長は約 ..... センチ

・体の色は全体的に ..... 色

・背中に ..... 色の斑紋

・腹面には ..... の形に似た赤い模様

問4 市は、どのような注意を呼びかけましたか。

.....